

## 6. 誘導施策の設定

### 6-1 居住及び都市機能を誘導するための施策

#### (1) 施策の方向性

本計画では、「本市の拠点性と公共交通ネットワークで構築された都市構造を維持しながら、市民が住み慣れた地域で愛着を感じながら快適に暮らし続けることができる、『コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり』を実現するため、居住誘導と都市機能誘導を行い、中心拠点の形成を進めることを基本方針としています。

中心拠点としての方針は以下に示すとおりです。(再掲)

#### 中心拠点（中心市街地）

○道路、鉄道、上下水道、通信網等のインフラが整備され、商業、医療、教育、行政等の都市機能が集積し、充実した都市サービスが受けられ、快適な居住環境が確保されるよう**居住及び都市機能の誘導**を図る。

居住誘導ならびに都市機能の誘導を図るため、以下に示す施策の方向性に基づいて誘導施策を講じるものとします。

① 居住誘導区域における居住環境・利便性の向上により一定の人口密度を確保します

② 都市機能誘導区域への都市施設立地誘導により利便性の高い都市構造を構築します

③ 若年層が学び活躍できる環境を創出し、賑わいある中心市街地として再興します

④ 多くの市民の日常生活を支える、快適で利便性のある公共交通機能を維持します

## (2) 居住誘導区域における誘導施策

### 1) 定住・移住の推進

居住誘導区域への定住・移住を推進するため、官民連携による移住定住施策の推進、移住・定住体験施設の拡充と有効活用、空き家等対策（空家調査及び解体支援）、空き家情報の提供・支援を行います。

さらに、中心市街地と地域拠点となる鉄道駅周辺を対象とする住宅取得支援事業については、居住誘導区域内での住宅取得に対して上乗せ助成等の強化を図り、各種事業の取り組みを進めます。

また、定住・移住の受け皿となる住宅を確保するため、中心市街地での土地区画整理事業により、木造密集市街地・狭隘道路等を改善し、ゆとりある利便性の高い良好な住宅基盤整備や良好な住環境の形成に向けた都市公園機能の保全・向上に努めます。これに加え、民間活力導入による環境配慮型の先進的な住宅群や黒部駅周辺の地域と一体となった住宅群など次世代型の居住環境整備を活かし、若年層を中心として中心市街地の新たなライフスタイルの提供による居住誘導を図ります。

### 2) 道路・公共交通網の充実

広大な市域を有する本市において、中心市街地のみならず、鉄道沿線及び集落部においても利便性が高く快適に暮らせる環境を整えるため、あいの風とやま鉄道・富山地方鉄道に対する支援、バス交通網の整備・推進による公共交通機能の充実を図るとともに、各地域を連絡する道路網の整備を推進します。

### 3) 安全性を高める防災対策の強化

市民が安全に暮らせる環境を整えるため、地震等の大規模災害を想定しながら、防災対策事業や木造住宅耐震改修に対する助成などを推進するとともに、消防施設等の整備などによる防災関連施設の機能強化を図ります。

また、災害時において市民が迅速に避難できるように、避難等の検討を図る情報提供および出前講座による講義の実施など防災意識の高揚に努めます。

このほか、冬期における交通の安全性を確保するため、道路消雪パイプの整備などを推進します。

### 4) 適正な土地利用の規制・誘導

良好な中心市街地の形成を図るため、居住誘導区域外での乱開発を防ぐ観点から、地域拠点（鉄道駅周辺）となる北陸新幹線駅周辺における適正な土地利用を推進します。

### (3) 都市機能誘導区域における誘導施策

#### 1) まちなかの賑わいの創出

中心市街地における居住及び都市機能の誘導により、まちなかの賑わいを創出するため、起業支援体制の確立、まちなかの賑わい創出事業への支援、まちなかにおける空き店舗への新規出店支援制度など、各種事業の推進により、学生チャレンジショップなど若年層の就業意欲を高めることで、まちなかの賑わい創出や空き店舗活用とのマッチングを図ります。

また、持続可能で利便性の高い公共交通網の形成を目指すとともに、公共交通の利用者増加へとつなげるため、民間企業のYKK(株)との共同運行による公共交通サービスの提供やモビリティハブ整備など交通まちづくり創生事業を実施します。

#### 2) 教育交流拠点の整備

市教育部局との連携の下、まちなかの市役所跡地に複数の都市施設の機能を集約し、情報の収集・発信など人々の知的好奇心を満たす多機能な「市民交流センター」を整備するとともに、先人やシニア世代の経験・知識の活用や、若年層支援と人材育成など新たな価値と地域力を創出させ、多様な交流により、人々が躍動することでまちなかの魅力を高めめます。

黒部市国際文化センターコーラレは、「市民交流センター」との役割を分担させ、今後とも活用を図ります。

#### 3) 公共空地（集約後の各施設跡地）の有効活用

交流センターへの機能統合により生まれる公共空地については、次代の人材育成につながる事業を実施する民間企業への売却等を検討し、賑わいと活力ある中心市街地の再興へつなげます。

#### 4) 安心して暮らせる生活環境の確保

本市に暮らす市民誰もが、安心して暮らすことができるように、乳幼児健康診査、妊産婦支援事業、要援護高齢者保護施設入所支援、市民病院整備などの子育て・教育、福祉、医療に関わる各種事業の充実や既存施設の統廃合・複合化によるサービス水準の確保に努めます。